
平成28年度予算第二特別委員会質問要旨

○ 局別審査

平成28年3月9日

質問者（質問順）

- 1 伊藤大貴委員（維新）
- 2 河治民夫委員（共産党）
- 3 中山まゆみ委員（自民党）
- 4 遊佐大輔委員（自民党）
- 5 加納重雄委員（公明党）
- 6 伊藤純一委員（民主党）
- 7 輿石且子委員（自民党）
- 8 井上さくら委員（無・ネ）

総務局

局 別 審 査

1 伊藤大貴委員（維新）

1 横浜市史について

- (1) 横浜市史を編集する意義について伺いたい。
- (2) 「横浜市史」及び「横浜市史Ⅱ」は、どのような契機で編集が開始され、完結までどのくらいの年数がかかったのか、伺いたい。
- (3) 現在、市史資料室ではどのような方法で、どのような資料を収集しているのかについて伺いたい。
- (4) 「横浜市史Ⅱ」以降の横浜市史の編集について、検討する時期に来ていると考えるがどうか。

2 新市庁舎について

- (1) 民間企業の取組を調査して得た行政の執務空間についての知見について伺いたい。
- (2) 組織の壁を越えて職員のコミュニケーションを活性化させる仕掛けについて伺いたい。
- (3) 賃料保証型マスターリース、パススルー型マスターリース、管理運営委託方式の特徴及びそれぞれのメリットとデメリットについて伺いたい。
- (4) テナント賃料は、民間で主流の売上歩合賃料を採用すべきと考えるがどうか。
- (5) 28年度の商業機能の検討の進め方について伺いたい。
- (6) 北仲通北地区への動線を確保し、民間開発との連携を強化すべきと考えるがどうか。

3 働き方の見直しについて

- (1) 働き方の見直しに向けた28年度の取組について伺いたい。
- (2) テレワークを導入することにより期待する効果について伺いたい。
- (3) フレックスタイム制については、どのような問題認識から検討を行うのか伺いたい。
- (4) 本市でフレックスタイム制を導入する場合の課題と今後の検討の進め方について伺いたい。

4 ストレスチェック制度について

- (1) ストレスチェック制度の実施が事業者の義務となったことによる本市の対応について伺いたい。
- (2) ストレスが高いと判断された職員に対する制度実施者の支援について伺いたい。
- (3) 働きやすい職場づくり、組織のマネジメントに活用するため、一定のルールのもとで、結果を活用すべきと考えるがどうか。

2 河 治 民 夫 委 員 (共 産 党)

1 職員のメンタルヘルス対策事業について

- (1) 労働安全衛生法の一部改正に基づく事業の概要について伺いたい。
- (2) 精神疾患による休職者数及び「こころの健康相談室」の利用状況について伺いたい。
- (3) 28年度における「こころの健康相談室」の相談体制について伺いたい。
- (4) 相談しやすい環境を整えるために、相談体制の強化を図るべきと考えるがどうか。

2 感震ブレーカーの設置について

- (1) 感震ブレーカーの位置付け、設置目的について伺いたい。
- (2) 感震ブレーカーは全市どこでも設置できるのか伺いたい。
- (3) 補助対象地域をはずし、全市に拡大すべきと考えるがどうか。
- (4) 補助対象地域をはずし、全市に拡大すべきと考えるが再度伺いたい。
(要望) 補助の対象を全市に拡大していただきたい。

3 防災用屋外スピーカー整備事業について

- (1) 新規に事業として取り組むことになった経緯について伺いたい。
- (2) 期待できる効果及び実施する上での課題について伺いたい。
- (3) スピーカー設置までの対策について伺いたい。
- (4) 南区が広報車による広報を実施しなかった理由について伺いたい。
- (5) 避難勧告等発令時の広報手段、周知マニュアルの有無について伺いたい。
- (6) 総務局が各区の広報活動をチェックするシステムづくりが必要と考えるがどうか。

4 地域防災力の向上と防災拠点の機能強化について

- (1) 危機管理アンケート調査概要、調査結果の内容、及びそれに対する見解について伺いたい。
- (2) 「わが家の地震対策」の作成の経緯、目的及び活用状況について伺いたい。
- (3) 危機管理アンケートの結果「わが家の地震対策」の認知度が低い、持っていない人が多いなど今の答弁と大分異なることについて伺いたい。
- (4) 多くの人にご覧いただけるようにという、作成当初の計画と実情が違うと考えるがどうか。
- (5) 危機管理アンケートの結果から、訓練や研修について、しっかりと広報し、身近なところで企画すれば参加してもらえると考えるがどうか。
- (6) 地域防災拠点や地域における様々な工夫や先進的な事例を全市に普及すべきと考えるがどうか。

5 しごと改革について

- (1) 各区局間の連携が必要。総務局がその連携を掌握すべきと考えるがどうか。

3 中山まゆみ 委員（自民党）

1 マイナンバー制度と本市の情報セキュリティ対策について

- (1) マイナンバーカードの交付に係るシステムトラブルへの本市の対応について伺いたい。
 - (2) マイナポータルを活用に関する国の検討状況について伺いたい。
 - (3) 国が想定する機能による市民のメリットについて伺いたい。
 - (4) マイナポータル活用についての本市の考え方について伺いたい。
 - (5) 今後の本市の情報セキュリティ対策について伺いたい。
 - (6) 利便性向上や業務効率化に向けた取組への意気込みについて伺いたい。
- (要望) セキュリティ対策について、技術的な対策の強化に加え、人的な対策にも継続的に取り組んでいただきたい。

2 ペーパーレスの推進について

- (1) 新市庁舎のモデルオフィスにおけるペーパーレスの具体的な検証内容について伺いたい。
- (2) 新市庁舎を見据えた28年度のペーパーレスの取組の進め方について伺いたい。
- (3) 本市においても、強力なリーダーシップのもと、ペーパーレスを推進すべきと考えるがどうか。

3 多様で柔軟な働き方について

- (1) テレワークの具体的な実施方法について伺いたい。
- (2) テレワークの試行結果に関する検証方法について伺いたい。
- (3) 多様で柔軟な働き方の実現に向けては、積極的に取り組むべきと考えるがどうか。

4 職員の意欲に応える人事給与制度について

- (1) これまでの検証の中で出てきた課題について伺いたい。
- (2) 28年度に行う見直しの具体的な内容について伺いたい。
- (3) 28年度以降のさらなる職員のモチベーションの向上に向けた見直し予定について伺いたい。

5 自助・共助の取組の支援について

- (1) 地震防災戦略の進捗状況について伺いたい。
- (2) 今後の自助・共助の取組の支援の進め方について伺いたい。

6 帰宅困難者対策について

- (1) 大勢の帰宅困難者が発生することで懸念されることについて伺いたい。
- (2) 現在行っている帰宅困難者対策の内容について伺いたい。
- (3) 一斉帰宅抑制の取組内容について伺いたい。
- (4) 「一斉帰宅抑制の基本方針」の啓発活動の成果について伺いたい。
- (5) 帰宅困難者になってしまった方への対策について伺いたい。

4 遊 佐 大 輔 委員（自民党）

1 テロ事件対策について

- (1) テロ事件の脅威に対する認識について伺いたい。
- (2) テロ事件発生時の体制について伺いたい。
- (3) 爆破予告の内容について伺いたい。
- (4) 爆破予告に対する対応状況について伺いたい。
- (5) 横浜市への爆破予告が報道された後も、広報を実施しなかった理由について伺いたい。
- (6) テロ事件対策の今後の取組について伺いたい。
- (要望) テロ対策に係るマニュアルの検討を進めていただきたい。

2 津波警報伝達システムの有効活用について

- (1) 横浜市としての「公助の役割」について伺いたい。
- (2) 地震、津波だけでなく、様々な災害が想定されるが、公助の役割として、津波警報伝達システムを最大限活用することが重要と考えるがどうか。
- (3) 津波警報伝達システムの津波以外の活用について伺いたい。
- (4) 津波警報伝達システムの使用実績について伺いたい。
- (5) 使用時における市民等からの意見について伺いたい。
- (6) 使用時における誤操作等の障害の有無について伺いたい。
- (7) 誤操作を防ぐために、職員の日常的な訓練が必要と考えるがどうか。
- (8) 定時放送すべきと考えるがどうか。
- (9) 職員を増員するということもあるので、定時放送すべきと考えるがどうか。
- (10) 地域合意が図られた場合、利用できないのか伺いたい。
- (11) 地域合意が図られても訓練させないのはなぜか伺いたい。
- (12) 区役所に配置された津波警報伝達システムに関する機器が2種類あるが、それぞれの違いについて伺いたい。
- (13) 自動で流すには手動で行わなければならないのか伺いたい。

- (14) スピーカーの設定を手動で変えられるのは間違いないか伺いたい。
- (15) 訓練をさせない理由について伺いたい。
- (16) 毎日訓練するという事について、もう一度伺いたい。
- (17) 本来目的以外でのスピーカーの使用について伺いたい。
- (18) 再度、本来目的以外でのスピーカーの使用について伺いたい。
- (要望) 津波警報伝達システムを最大限活用していただきたい。

5 加 納 重 雄 委員（公明党）

1 爆破予告に対する本市の対応について

- (1) 今回の爆破予告の対応における課題について伺いたい。
- (2) 県内の他都市の対応状況について伺いたい。
- (3) 課題解決に向けた今後の取組について伺いたい。
- (4) 本市における爆破予告当日の対応状況について伺いたい。

ア 最初の加賀町警察への相談時は、管理課に加え緊急対策課も行くべきだったと考えるがどうか。

イ 13時まで、危機管理監はどのようにしていたのか伺いたい。

ウ 各局に対する周知の他、全区役所にも周知すべきだったと考えるがどうか。

エ 初動対応に時間がかかっていたが、爆破予告時刻まで日にちに余裕があるという認識はなかったのか伺いたい。

(要望) 今回の爆破予告を受けての一連の対応について検証して、今後のテロ対策に生かしていただきたい。

2 繁華街安心カメラ運用事業について

- (1) 繁華街安心カメラを設置した経緯について伺いたい。
- (2) 24年度の運用一部停止を巡るやり取りの内容とそこから得たもの、学んだことについて伺いたい。
- (3) 機器耐用年数とトラブル履歴、現在の稼働状況について伺いたい。
- (4) 現状の課題及び今後の更新時期の考え方について伺いたい。
- (5) 老朽化した機器の今後の更新における課題は深刻な状況と考えるがどうか。

3 経営責任職に対するコンプライアンス研修について

- (1) 総務局にコンプライアンス推進室を設置した経緯について伺いたい。
- (2) 経営責任職に対するコンプライアンス研修の目的、過去3年間の実施内容、出席率、及びその状況をどのように捉えているか伺いたい。
- (3) 経営責任職を対象とした研修については、経営責任職の不祥事事例を教材とすべきと考えるがどうか。
- (要望) 過去に新聞等で取り上げられた、経営責任職を始めとする本市職員が起こした不祥事事例を教材としたコンプライアンス研修を是非行ってもらいたい。

4 喫煙に関する職員の健康管理と勤務時間の公平性について

- (1) 喫煙による職員の離席に対する取組内容について伺いたい。
- (2) 他都市の庁舎における禁煙の実施状況について伺いたい。
- (3) 勤務時間の公平性から見た喫煙時間について伺いたい。
- (4) 業務時間内の喫煙に対する今後の取組について伺いたい。
- (5) 局長答弁を受けて、全市的な立場からの副市長の見解について伺いたい。

5 地域防災拠点における段ボールベッドの導入について

- (1) 段ボールベッドの導入に向けた現在の状況について伺いたい。
- (2) 段ボールベッドの活用についての考えについて伺いたい。

6 防災用屋外スピーカーの整備について

- (1) 瀬谷区瀬谷六丁目及びその周辺地域に整備を行う理由について伺いたい。
- (2) 防災情報を知らせる屋外スピーカーの名称を統一することについて伺いたい。

6 伊藤純一 委員（民主党）

1 自治会町内会向けの感震ブレーカー設置推進補助事業について

- (1) 27年度の実績について伺いたい。
- (2) 簡易タイプの補助対象を自治会町内会としている理由について伺いたい。
- (3) 27年度に見えてきた課題について伺いたい。
- (4) 28年度事業の進め方について伺いたい。

2 災害時の職員の健康課題について

- (1) 大規模災害発生時の職員の健康課題について伺いたい。
- (2) 発災時の職員の健康課題への対策の考え方について伺いたい。
- (3) 発災時の職員の健康課題に関する平時からの取組について伺いたい。

3 女性活躍推進に向けた人材育成について

- (1) 「第3期女性ポテンシャル発揮プログラム」を組織全体で共有するためのこれまでの取組について伺いたい。
- (2) 女性職員のキャリア形成をサポートするこれまでの取組について伺いたい。
- (3) 女性活躍推進に向けた28年度の取組について伺いたい。
- (要望) 女性活躍推進に向けた職員の意識や価値観を変えていくような取組について、新たな行動計画を生かして、是非積極的に取組を進めていただきたい。

4 横浜市の障害者雇用について

- (1) 現在の障害者雇用率について伺いたい。
- (2) 知的障害者雇用のこれまでの取組について伺いたい。
- (3) 知的障害者雇用の今後の取組について伺いたい。

5 新市庁舎整備（働きやすいオフィス）について

- （1）現在の執務環境の課題について伺いたい。
- （2）働きやすい執務環境を整備するための今後の取組について伺いたい。
- （3）働き方の見直しの視点について伺いたい。

7 興石且子委員（自民党）

1 最高情報統括責任者補佐監（CIO補佐監）の役割について

- (1) CIO補佐監の設置根拠と職務についての見解について伺いたい。
- (2) この1年の本市ICT施策の課題についての取組について伺いたい。
- (3) ICT人材の育成に関する取組について伺いたい。
- (4) CIO補佐監が本市で実現したいと考えていることについて伺いたい。

2 職員の心身の健康管理について

- (1) 心身の疾患により26年度中に休職した職員数と5年前との比較について伺いたい。
- (2) 定期健康診断結果からみえる本市職員の健康上の課題について伺いたい。
- (3) 健康課題の解決に向けた取り組みの方向性について伺いたい。
- (4) 職員の健康づくりにおける組織としての取り組み姿勢について伺いたい。

3 職員行動基準の浸透・定着について

- (1) 職員行動基準を策定することになった背景について伺いたい。
- (2) 職員行動基準を常に職員が意識するための取組について伺いたい。
- (3) チーム横浜賞に期待する具体的な効果について伺いたい。
- (4) 職員行動基準を市民に見えるところに掲示すれば、コンプライアンスに取り組んでいることを市民にアピールできるのではないかと考えるがどうか。

4 特殊勤務手当について

- (1) 消防局の救急業務を特殊勤務手当の対象として追加する理由について伺いたい。
- (2) 消防局の特殊勤務手当を追加することで、今後、他局等の部署に拡大するのではないかと考えるがどうか。
- (3) 特殊勤務手当を支給することの意義について伺いたい。

5 教室型防災備蓄庫の校地への移設について

- (1) 教室型防災備蓄庫の校地への移設状況について伺いたい。
- (2) 28年度からの教室型防災備蓄庫の校地への移設計画について伺いたい。
- (3) 教室型防災備蓄庫を校地へ移設する際の優先順位について伺いたい。

- 1 東日本大震災による福島県からの市内避難者への支援について
 - (1) 東日本大震災から5年を迎えての所感について伺いたい。
 - (2) 東日本大震災による本市への避難者の現状（世帯数、人数など）また、そのうち福島からの避難者数について伺いたい。
 - (3) 避難指示区域外からの避難者への住宅支援の29年3月打ち切りの方針の概要とそれによる市内避難者への影響をどう考えるか伺いたい。
 - (4) 避難指示区域外からの避難者への独自支援の考えを伺いたい。
 - (5) 避難者の状況や今後の意向を丁寧に把握する必要があると考えるがどうか。
 - (6) 家賃補助や公営住宅入居時の家賃算定の特例等で、避難者が希望すれば現在の住まいを確保できるように支援して欲しいがどうか。
 - (7) 阪神淡路大震災の際にも横浜への避難者に対し、災害救助法適用以降も市内公営住宅への特定入居などの前例があったと聞くがどうか。

2 原発災害の教訓と横浜市防災計画放射性物質災害対策について

- (1) 原発災害についてどのような教訓を汲み取っているか伺いたい。
- (2) 教訓は本市の防災計画にどのように反映されているか伺いたい。
- (3) 防災計画で「緊急時の連絡体制の整備」について定められていると思うが、どのように定められているのか伺いたい。
- (4) 緊急時の連絡体制の整備はどのようになっているか伺いたい。
- (5) なぜ、直接的な連絡体制について整備していないのか伺いたい。
- (6) 早急に協議し直接連絡の体制を整備する必要があると考えるがどうか。
- (7) 核燃料物質等輸送中の災害対策のうち、横浜市内で核燃料物質等の輸送の実態はあるのか伺いたい。
- (8) なぜこのような項目が横浜市において必要となっているのか、また、このような実態があるのか伺いたい。
- (9) 昨年は何回くらい核燃料物質等の輸送車が通っているのか伺いたい。
- (10) 核燃料物質等の輸送に関して、市が行う事前対策はどのように定められているのか伺いたい。
- (11) 県外の原子力施設に係る輸送の情報の取扱いについて、なぜ国や県等と協議をしていないのか伺いたい。
- (12) 記録がないから把握をしていない、国や県等とも協議をしていない実態をどう思うか、伺いたい。

3 地域防災について

- (1) 東日本大震災から5年を踏まえた50事業のうち、予算を組んで行われるのは17事業だが、そのうち「区づくり推進費」が使われているものはいくつあるのか伺いたい。
- (2) 総務局には「危機対処・防災訓練事業費」があるが、防災拠点以外の新たな地域の防災訓練に予算を出せる枠はないのか伺いたい。
- (3) 区づくり推進費ではなく、地域の特性に応じた訓練が実施できる予算枠をつくる必要があると考えるがどうか。